平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年5月11日

上場会社名　株式会社 ティア　　上場取引所　名
コード番号　2485　URL　http://www.tear.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 冨安　徳久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 山本　克己　TEL 052-918-8254

四半期報告書提出予定日　平成23年5月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	4,089	4.0	421	△17.6	385	△19.4	195	△30.2
22年9月期第2四半期	3,933	21.7	511	37.6	478	38.2	279	41.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	85.79	―
22年9月期第2四半期	122.89	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	7,535	1,926	25.6	845.76
22年9月期	6,716	1,799	26.8	789.98

(参考) 自己資本　23年9月期第2四半期　1,926百万円　22年9月期　1,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	―	0.00	―	30.00	30.00
23年9月期	―	0.00			
23年9月期(予想)			―	30.00	30.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年9月期の業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,403	10.0	800	3.8	730	3.8	398	△1.5	174.94

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年9月期2Q	2,278,000株	22年9月期	2,278,000株
② 期末自己株式数	23年9月期2Q	41株	22年9月期	26株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年9月期2Q	2,277,959株	22年9月期2Q	2,278,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（３）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期の業績等に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出主導により緩やかな景気回復基調となりました。一方、国内消費におきましては家計収入の伸び悩み等により、自律的な回復には至っておりません。また、３月11日に発生した東日本大震災により取り巻く環境は一変し、先行きに対して不透明感が拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要が今後30年間にわたり年々逓増すると推計されており、業界全体における売上高、取扱件数は増加傾向で推移しております。しかしながら、最近の葬儀規模の縮小傾向や雇用・所得環境の悪化による影響などを受け、葬儀１件当たりの単価は依然として逓減傾向にあります。

当社は、このような状況下、不断に価格体系の明確化に努め、顧客満足度の向上を目指した社員教育に基づく質の高い葬儀サービスの提供を目指してまいりました。こうした経営理念の発露といたしまして、名古屋市内を中心に愛知県内で27店舗の他、大阪府門真市に１店舗を直営店として運営するなど、さらなる営業基盤の拡充に努めております。

当第２四半期累計期間におきましては、引き続き新店舗を設置し、葬儀サービスの拡充に努めるとともに、既存店舗のサービスレベルの増強や合理化を目的とした設備投資を実施しました。

新店舗については、愛知県岡崎市に葬儀会館「ティア岡崎北」を直営店として開設し、平成22年10月29日より営業を開始しております。一方、既存店は、店舗賃借料等の費用削減や効率化のために賃借していた既存店１店舗の土地・建物を買い取るとともに、多様に変化する顧客ニーズに対応するために既存店１店舗の増築改修工事を実施いたしました。

この結果、当第２四半期累計期間の葬儀請負施行件数は3,188件（前年同期比6.7％増）、売上高は40億89百万円（同4.0％増）となりましたが、店舗運営を充実させるための人件費、上記新店オープンに係るテレビコマーシャル放映等の広告宣伝費等が増加し、営業利益は４億21百万円（同17.6％減）、経常利益は３億85百万円（同19.4％減）、四半期純利益は１億95百万円（同30.2％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第２四半期累計期間においては、葬儀の低価格化が進行しましたが、前事業年度に引き続き「ティアの会」入会キャンペーンや葬祭見学会・人形供養祭等のイベントを定期的に開催し、さらに、既存会員への働きかけや提携団体・企業に向けての営業等にも積極的に取り組み、会員数拡大に注力しました。

この結果、当第２四半期累計期間は会員数の増加が葬儀施行件数に寄与し、売上高は40億18百万円（同3.0％増）、営業利益は６億65百万円となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第２四半期累計期間におけるＦＣ店の新規出店は５店舗（既存クライアント４店舗、新規クライアント１店舗）でした。また新規フランチャイズ契約を３件締結し、それらの加盟金等が計上されたため、売上高は70百万円（同127.7％増）、営業利益は14百万円となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

［資産、負債及び純資産の状況］

当第２四半期累計期間における財政状態は、前事業年度末に比べ、総資産は８億19百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が７億98百万円増加したこと等によるものであります。

一方、負債におきましては、前事業年度末に比べ、６億92百万円増加いたしました。これは主に、１年内返済予定を含む長期借入金が４億69百万円、資産除去債務が１億33百万円増加したこと等によるものであります。

なお、純資産総額におきましては、前事業年度末に比べ、１億27百万円の増加となっております。

［キャッシュ・フローの状況］

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて８百万円増加し、11億93百万円となりました。

なお、当第２四半期期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は３億97百万円（前年同期比35.0％減）となりました。これは主に税引前四半期純利益３億37百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は８億26百万円（前年同期比118.7％増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出８億２百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において、財務活動の結果得られた資金は４億38百万円（前年同期比160.5%増）となりました。これは長期借入金の借入による収入12億15百万円があったものの、長期借入金の返済による支出７億45百万円があったこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成22年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．その他の情報

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第２四半期累計期間の営業利益及び経常利益は3,574千円、税引前四半期純利益は54,219千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は123,962千円であります。

（３）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成23年３月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,193,575	1,184,747
売掛金	108,993	107,678
商品	11,436	11,320
その他	153,484	174,529
貸倒引当金	△1,703	△2,487
流動資産合計	1,465,787	1,475,787
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,970,408	2,524,742
土地	1,285,818	945,605
その他（純額）	465,649	453,267
有形固定資産合計	※1 4,721,876	※1 3,923,614
無形固定資産	220,134	246,094
投資その他の資産		
差入保証金	915,586	895,900
その他	212,340	174,914
投資その他の資産合計	1,127,927	1,070,815
固定資産合計	6,069,938	5,240,523
資産合計	7,535,726	6,716,311
負債の部		
流動負債		
買掛金	324,751	283,767
短期借入金	113,336	56,668
1年内返済予定の長期借入金	1,227,014	1,155,658
未払法人税等	190,250	201,142
賞与引当金	84,946	62,538
役員賞与引当金	－	10,580
その他	298,084	327,029
流動負債合計	2,238,382	2,097,382
固定負債		
長期借入金	3,048,542	2,650,646
資産除去債務	133,556	－
その他	188,641	168,737
固定負債合計	3,370,740	2,819,383
負債合計	5,609,123	4,916,766

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成23年３月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	580,750
資本剰余金	214,250	214,250
利益剰余金	1,131,738	1,004,640
自己株式	△75	△44
株主資本合計	1,926,662	1,799,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△59	△51
評価・換算差額等合計	△59	△51
純資産合計	1,926,603	1,799,544
負債純資産合計	7,535,726	6,716,311

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）
売上高	3,933,662	4,089,420
売上原価	2,646,316	2,756,759
売上総利益	1,287,346	1,332,660
販売費及び一般管理費	※　775,479	※　910,845
営業利益	511,866	421,815
営業外収益		
受取利息	3,119	3,083
受取保険金	1,842	－
受取供花搬入料	1,659	－
その他	3,082	6,855
営業外収益合計	9,704	9,938
営業外費用		
支払利息	39,089	43,709
その他	4,433	2,900
営業外費用合計	43,522	46,609
経常利益	478,047	385,144
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	739
賞与引当金戻入額	－	2,192
特別利益合計	－	2,932
特別損失		
固定資産除売却損	499	296
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	50,644
特別損失合計	499	50,941
税引前四半期純利益	477,548	337,134
法人税、住民税及び事業税	200,731	182,770
法人税等調整額	△3,134	△41,072
法人税等合計	197,597	141,697
四半期純利益	279,951	195,437

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	477,548	337,134
減価償却費	144,466	170,595
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	50,644
賞与引当金の増減額（△は減少）	△277	22,408
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△10,580
受取利息及び受取配当金	△3,126	△3,088
支払利息	39,089	43,709
売上債権の増減額（△は増加）	△3,233	△1,315
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,986	1,021
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,052	△784
仕入債務の増減額（△は減少）	101,949	40,983
その他	18,640	△16,520
小計	773,124	634,208
利息及び配当金の受取額	82	48
利息の支払額	△39,052	△43,653
法人税等の支払額	△122,391	△192,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	611,762	397,652
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△372,987	△802,491
無形固定資産の取得による支出	△6,952	△4,207
差入保証金の差入による支出	△12,786	△64,830
差入保証金の回収による収入	16,133	48,184
その他	△1,574	△3,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,167	△826,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	340,000
短期借入金の返済による支出	△133,200	△283,332
長期借入れによる収入	800,000	1,215,000
長期借入金の返済による支出	△623,522	△745,748
自己株式の取得による支出	－	△31
リース債務の返済による支出	△15,955	△17,424
割賦債務の返済による支出	△2,530	△2,604
配当金の支払額	△56,627	△67,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,163	438,080
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	401,758	8,828
現金及び現金同等物の期首残高	1,018,950	1,184,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,420,708	※ 1,193,575

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。